



びっきー

第8号

【学校教育目標】

Chance! Challenge! Change!

～「チャンス」をつかみ「挑戦」!

自分をより高く「変革」!～

2 学期始業式

9月3日(月) 37日間の夏休みが終わり、2学期がスタートしました。今年の夏は全国各地で40℃を越える猛暑が報告され、「酷暑」の夏のイメージが強く、とにかく暑すぎた夏でした。また、甲子園では佐賀商業高校や愛工大名電高校、そしてWBSC女子野球ワールドカップ女子野球ワールドカップに緒方佑華さんが出場・活躍するなど、本校の卒業生も活躍してくれた夏でもありました。

そういう猛暑の夏も確実に進み「夏の蝉の声」も少なくなり、朝夕は「秋の虫の声」に変わってきました。しかし、まだまだ残暑が続きます。熱中症にも注意させていきたいと思えます。

2学期は、今週出発する3年生の修学旅行、2年生の職場体験、1年生の宿泊訓練を始めとする校外行事、合唱コンクールや文化発表会など様々な学校行事があります。また3年生は、志望校の選定など卒業後の進路に関わる大切な時期を迎えます。「強い志」と「実行する心」をもって、自己の進路実現に向けて、充実した2学期にしてほしいと思えます。

始業式では、そのためにということで、次の2つのことを話しました。

1つ目は「志をもち、継続して取り組むこと」

自分の長所は?強みは?と聞かれたら、何と応えますか?あなたは将来どんな自分像を描いていますか?そのためにどんな努力をしていますか?応えられますか?(中略)将来の夢は、変化して当然だと思います。しかし、何も目標を持たずに過ごす人と志をもって継続して努力する人とは、物事に対する吸収力や意欲、ひいては成果も大きく異なります。ぜひ、なりたい自分像をもち、継続して取り組んでください。

メジャーリーグで活躍したイチロー選手は、「今自分がやっていることが好きであるかどうか。それさえあれば自分を磨こうとするし、常に前に進もうとする自分がいるはず。」

という素敵な言葉を残しています。ぜひ、イチロー選手の言葉を胸に、志をもち、継続して取り組んでください。

2つ目は「仲間を大事にし、お互いが気持ちよく生活すること」

- ・人の嫌がることを言わない。しない
- ・人に嘘をつかない。
- ・人を差別しない、馬鹿にしない、見下さない
- ・人の悪口を言わない。
- ・言動がおかしいときは「いけないよ」と教えてあげる。
- ・よくないことをしたら、すぐ「ごめんね」と謝る
- ・「ありがとう」のことばを多く伝える。
- ・上手に人とコミュニケーションを取る。

など人付き合いには、多くのルールがあります。

「学校」は、安心できる場所ではなくてはなりません。そんな学校で、人付き合いのルールを守らず、もし友達から嫌なことを言われると、学校はまったく楽しくない場所、不安な場所になってしまう。そんな状態では勉強も部活動も伸びません。逆に優しい言葉をかけてもらおうと居心地のいい学校になります。

成長の基盤となる人間関係をしっかり確立して、お互いが気持ちよく生活し、一人一人が「学校が楽しい」といえる環境の中で、共に学び、助け合い、磨き合って充実した2学期にしてください。

平和集会

8月9日(木)平和集会を生徒会主催で行われました。黙祷の後、戦争に関する〇×クイズ、核兵器や内戦や紛争についての発表、動画鑑賞、生徒会長による平和宣言と進めてくれました。事前準備から執行部のみなさんありがとうございました。生徒会長の平和宣言の内容を紹介します。



1945年8月15日 今から73年前ポツダム宣言の受諾と軍の降伏の決定により日本中で起こった戦争は多くの犠牲者を出し、終わりました。このような戦争に何の意味があったのでしょうか。戦争で得るものは何もなく、ただ多くの悲しみと絶望が残るだけです。人々は平和をよく口にしますが本当の平和とは一体何なのでしょう。年齢や性別を問わず、たくさんの人が兵隊として働かされ、その尊い命を失いました。その中には僕たちと同じくらいの歳の学生もいたそうです。想像を絶するくらい恐ろしかったことでしょう。そのことを考えると戦争への怒りで胸がいっぱいになります。あの戦争から73年経った今でも、人々の奥底には未だに消えない戦争の傷跡があります。

このような現状の中、私たち一人一人にできることは何でしょうか。僕たちには、戦争の悲しみを忘れず、平和な世界が実現されるよう努力をし続ける義務があると思います。そのために、常に相手を思いやり助け合う心を大切に持ち続けることを誓い、ここに宣言します。
(生徒会長 久保雅人)

水泳の授業

8月21日(火)・23日(木) B&G海洋センターのプールで1年生の水泳の授業を行いました。計画では3日間の予定でしたが、台風接近のため22日を臨時休業にしたため2日間の実施となりました。中学校にプールがない学校はそう多くはないと思います。生徒たちは楽しそうに水泳の授業に臨んでいました。



文化発表会テーマ決定

10月27日(土)文化発表会を開催します。そのテーマが決まりました。

テーマ：「虹 ～この瞬間に想いをのせて 輝け自分色～」

テーマ設定の理由：「虹」は七色集まって、初めてできるものです。江北中学校7クラスで最高の文化発表会を作りたいという思いがあります。また、サブタイトルには文化発表会に対する想いととも自分の個性を出して一人一人が輝いてほしいという思いが込められています。



体育大会同様、主体的に活動し、よりよいものを作り上げてくれるものと期待しています。

中高生ネット依存 93 万人 (佐賀新聞記事より)

厚生労働省研究班は、病的なインターネット依存が疑われる中高生が全国で93万人(7人に1人)に上るとの推測を発表した。ネット依存は、朝起きられず、学校や職場を遅刻、欠席したり、昼夜逆転生活を送ったりするのが症状の典型例。家庭内暴力や引きこもり、一部の重症患者では脳の萎縮などが起きることもある。8項目の質問に5個以上あてはまる人を「病的な使用」とした。質問に3～4個あてはまる”予備軍”を含めると254万人に上る。中高生の半数前後がネットのやり過ぎで成績低下を経験していた。インターネット依存は日常生活に支障が出ているのに本人が病的と認識していないケースがあり、周囲がコントロールしようとしても反発されることが多い。無理にスマートフォンを取り上げるのではなく「自分の意志で行動を替えていくのを援助するべきだ」と専門家は話している。

(9月1日佐賀新聞より一部抜粋)

ネット依存に関する8項目の質問と「当てはまる」と答えた人の割合(高1)

ネットに夢中になっていると感じる	58%
予定よりも長時間使用する	55%
制限しようとしてうまくいかなかったことがある	41%
トラブルや嫌な気持ちから逃げるために使用する	27%
使用しないと落ち着かない、いらいらする	22%
熱中を隠すため、家族らにうそをついたことがある	17%
使用時間がだんだん長くなる	12%
ネットのせいで人間関係などを台無しにした、しろうになった	9%

[5項目以上該当するとネット依存が疑われる]